

コミュニティ形成と住民力

2012.3.16 基本構想シンポジウム

せたがや自治政策研究所所長

放送大学教授

森岡 清志

コミュニティとは

- 一般には、「現状の地域社会＝コミュニティ」という意味で用いられている。
- 特定の学問領域では、コミュニティ形成を考慮に入れて、「コミュニティ＝望ましい地域社会」の意味で用いられる。

地域社会の目標、期待概念

コミュニティ形成とは

- 望ましい地域社会を形成するための営み
- 最適な問題処理システムを地域ごとに形成する営み

70年代・80年代のコミュニティ施策

- 69年国民生活審議会調査部会コミュニティ問題小委員会報告『コミュニティ生活の場における人間性の回復』



「モデル・コミュニティ」施策の展開

- 報告の視点
 - ・コミュニティは望ましい地域社会像
 - ・都市化のマイナス面への対応—大都市に焦点
 - ・住民自治の回復の必要性
- コミュニティ施策の現実
 - ・コミュニティセンターづくり
 - ・コミュニティ課の新設
 - ・近隣・共同体復活のイメージ
 - ・住民は動員の対象

なぜ、今、 新しくコミュニティ形成を言うのか

□ 都市的生活様式の限界

◇生活様式—共同生活の営み方(共通・共同の生活問題の解決・処理の原則)

◇都市的生活様式と村落的生活様式

- ・共通・共同問題の多様性と量のちがい
- ・世帯内処理と相互扶助 対 専門処理

◇都市的生活様式

...共通・共同問題の専門処理を原則とする生活の営み方

→専門的問題処理システムの形成が前提

専門処理システムへの住民の高度依存と

システム自体の限界

なぜ、今、 新しくコミュニティ形成を言うのか

- 専門処理システム改革としてのコミュニティ形成
専門処理システムの要所に住民との協働を組み込む
 - 地域社会ごとに問題処理システムを改革
 - 空間範域と行政範域に対応する重層的
コミュニティの形成
(小学校区→センター地区→総合支所→全区)

なぜ、今、 新しくコミュニティ形成を言うのか

□ 自治体政策の転換

地方分権の推進、新しい統治の必要

...社会的ガバナンス、住民や民間セクターとの

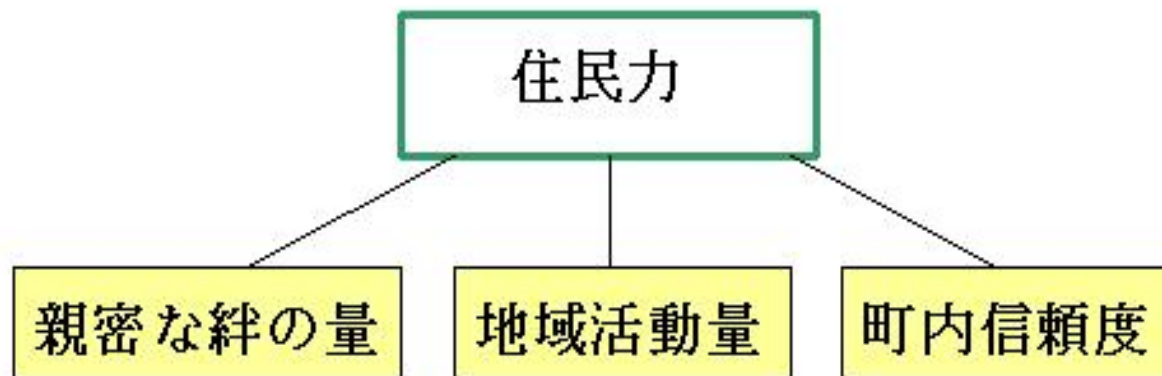
パートナーシップ形成

→公共的領域の意思決定過程に対等なパートナーとして参画するための住民側の力量も問われる

住民力とは

- コミュニティ形成に主体的に参加するための住民自身が保有するソフトな資源
- 行政と対等に公共的領域に対して責任をもち、意思決定過程に参画しうる住民の力量

住民力の構成要素



分析に用いるデータ

- 調査実施年月...2009年9月
- 対象者...20歳以上75歳未満の世田谷区民
10,000名を無作為抽出
- 調査方法...郵送法
- 回収率...有効回収率54.5%
(有効回収数5,447票)

コミュニティ・モラル

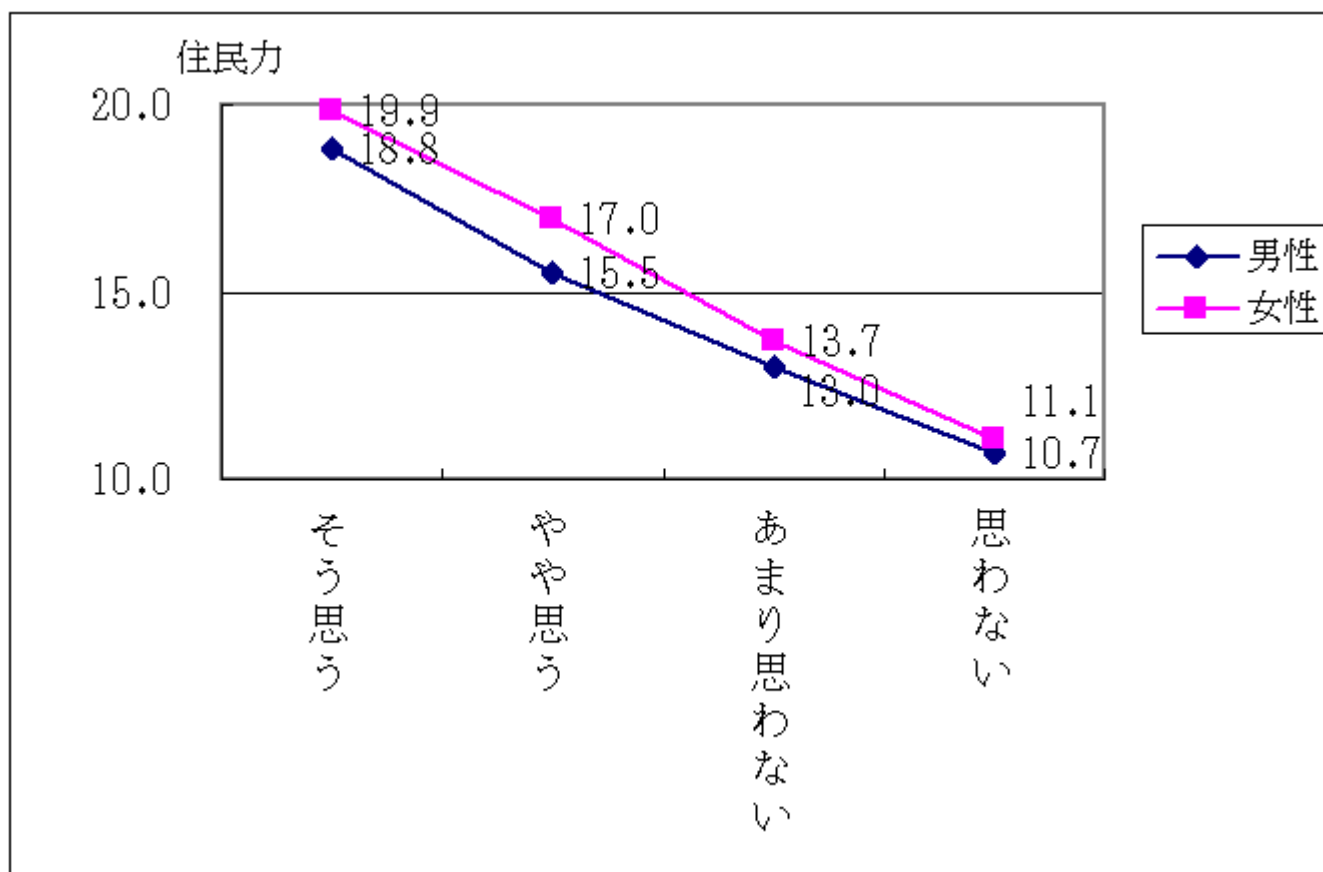
- 地域社会への愛着心・帰属感

「このまちの人たちはみんな仲間だという気がしますか」

- 地域社会への参加意欲

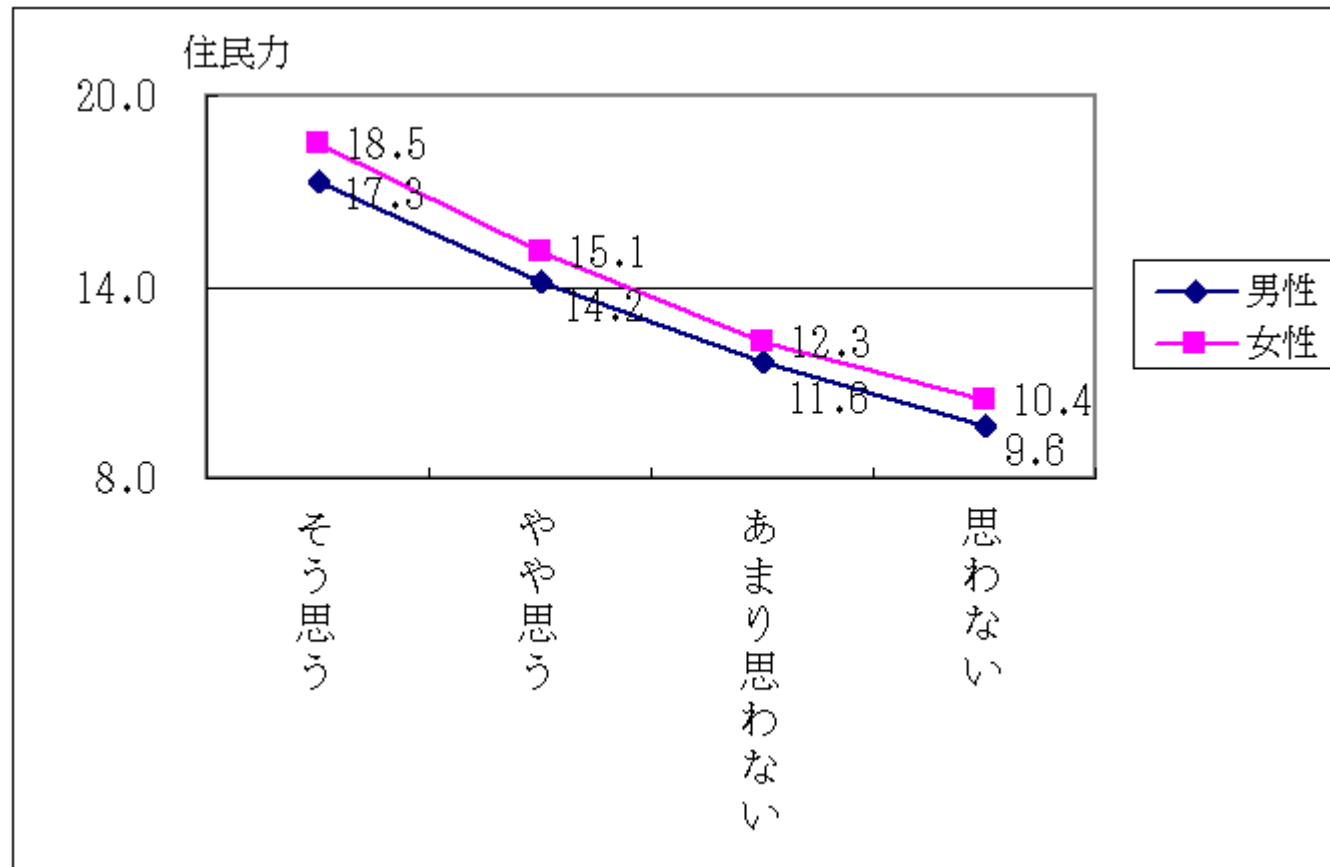
「このまちのためになることをして何か役に立ちたいと思いますか」

図表1 「このまちの人は仲間」意識と住民力の関係



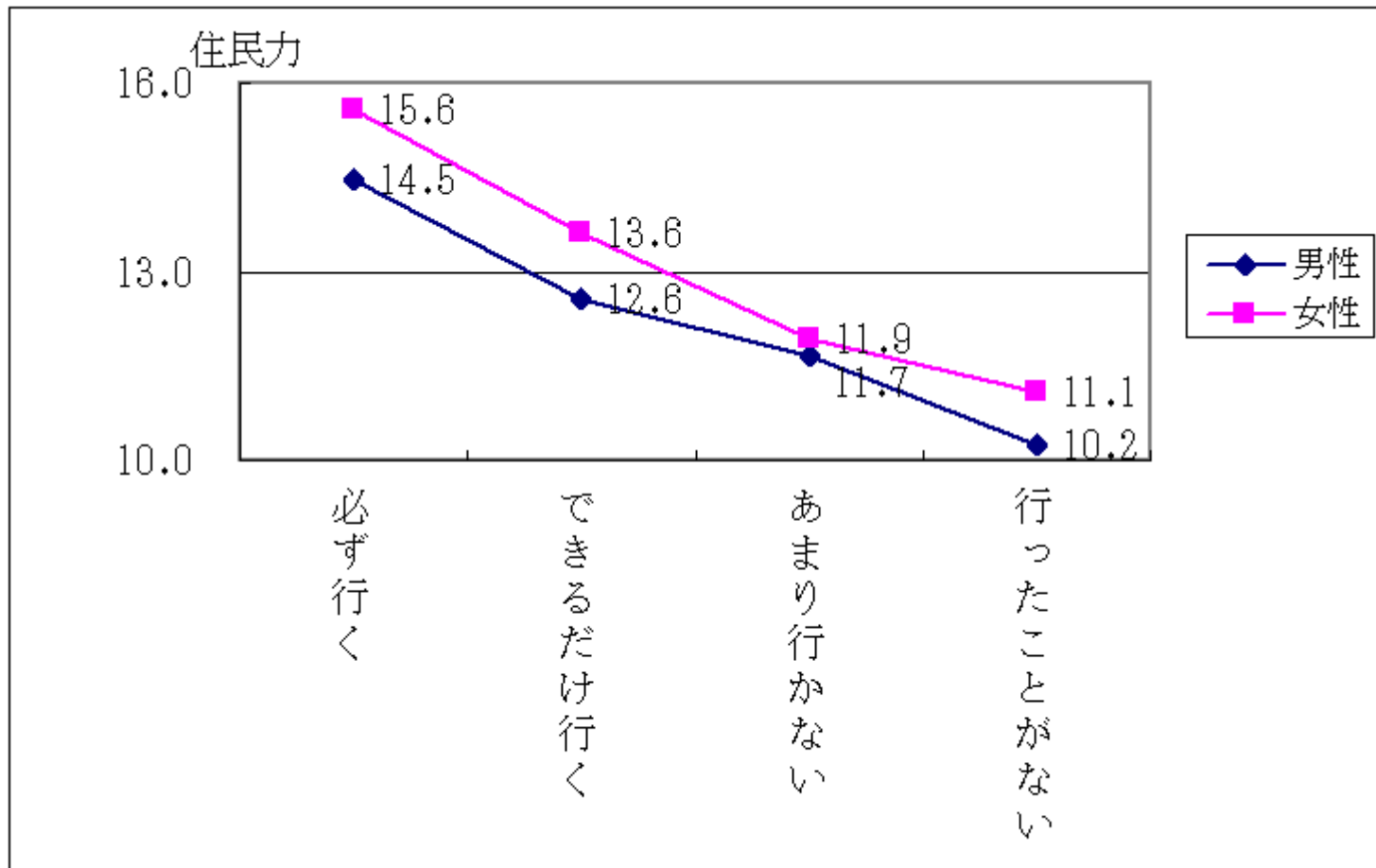
男性 $p < 0.001$ 女性 $p < 0.001$

図表2 「このまちの役に立ちたい」意識と住民力の関係



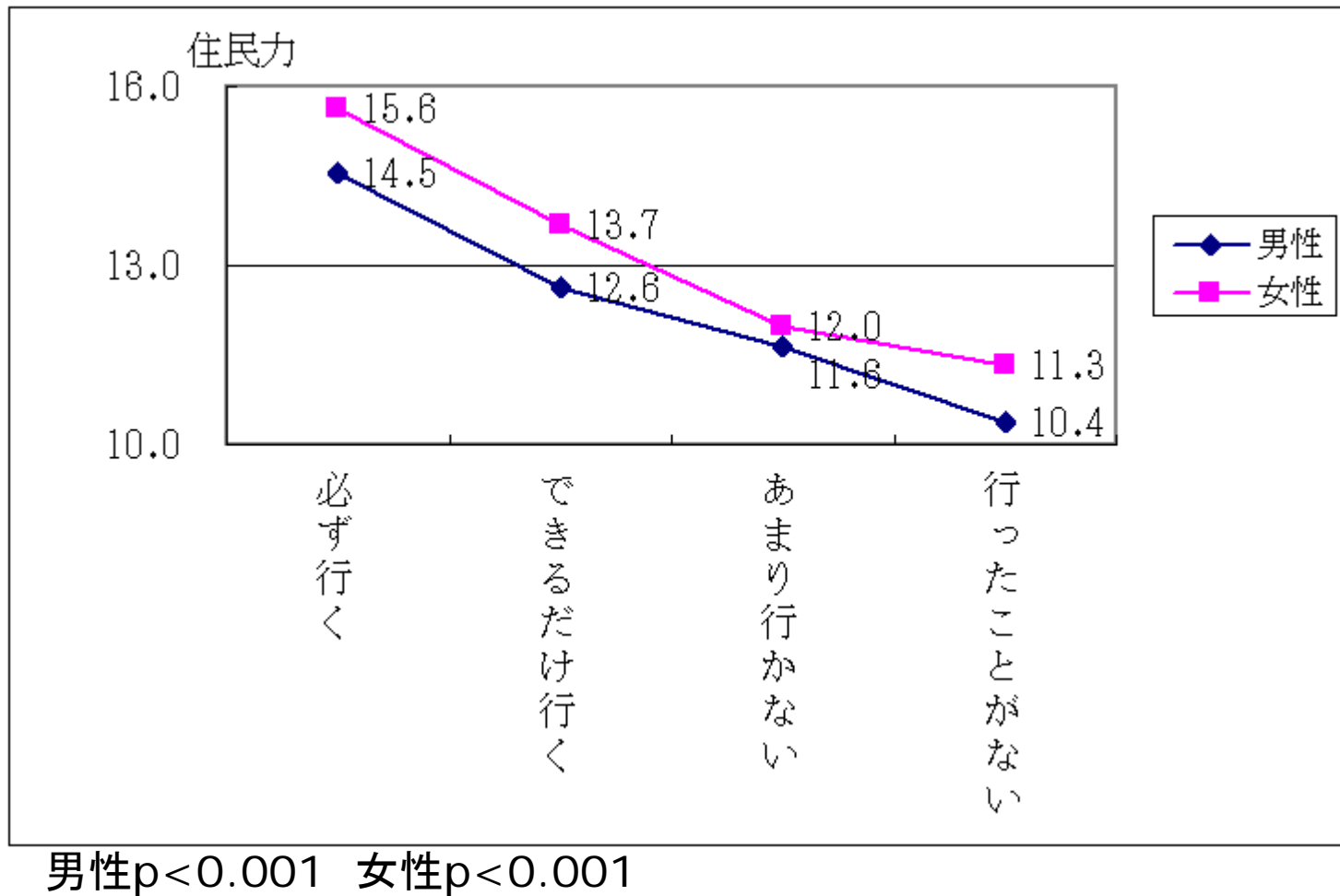
男性 $p < 0.001$ 女性 $p < 0.001$

図表3 国政選挙投票行動と住民力



男性 $p < 0.001$ 女性 $p < 0.001$

図表4 地方選挙投票行動と住民力



住民解決志向

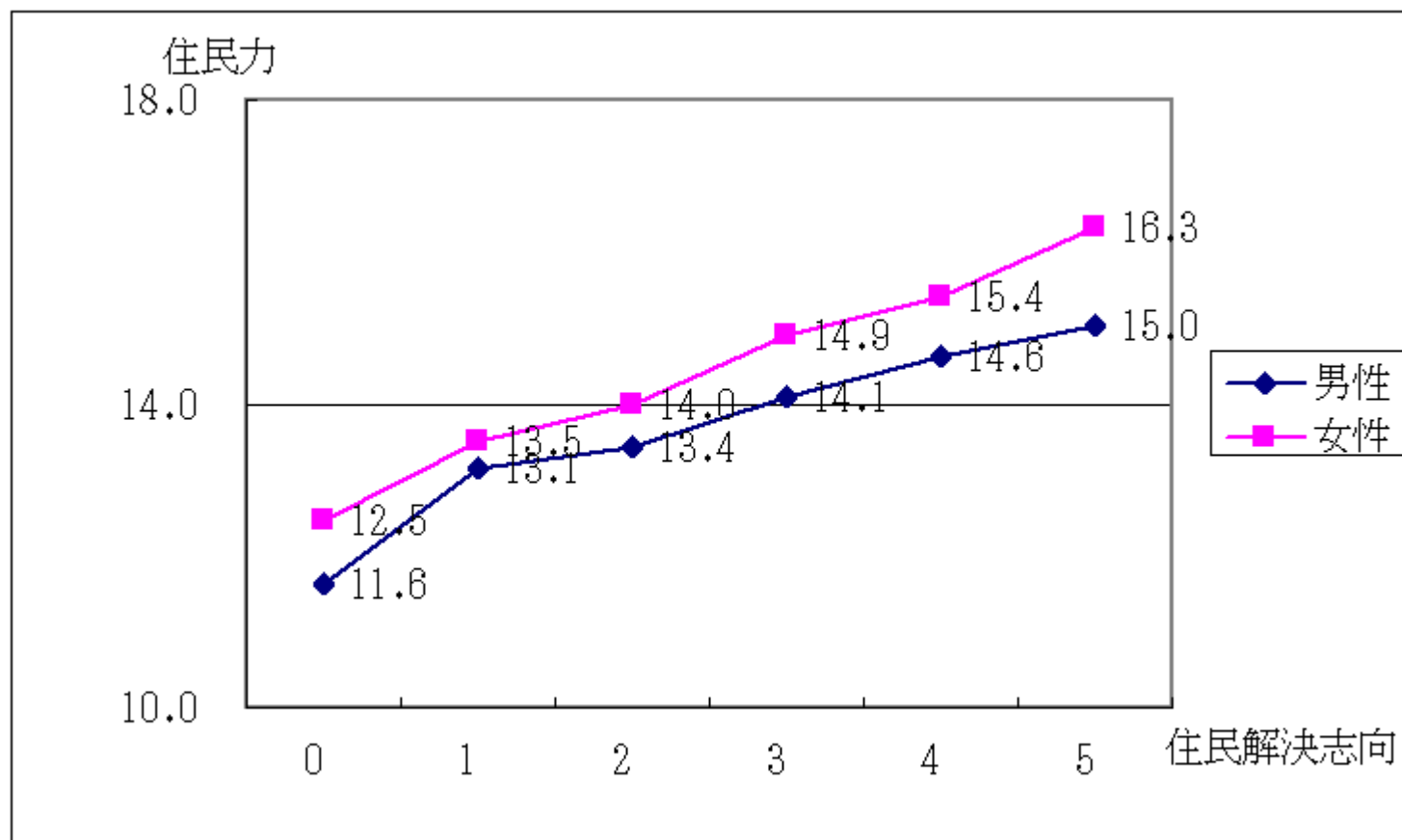
□ 5つの生活課題を提示

- ①災害発生時の避難所での炊き出し
- ②子どもの安全を守る活動
- ③独居高齢者に対する簡単な支援
- ④近所の乳幼児の短い時間の預かり
- ⑤家のそばの並木道の落ち葉の清掃

□ それぞれに「家族や親族で処理」、「行政などの専門サービスで処理」、「住民たちで処理」の3つの選択肢を設定

□ 「住民たちで処理」を選んだ回数(0~5)を住民解決志向とする

図表5 住民解決志向と住民力



男性 $p < 0.001$ 女性 $p < 0.001$

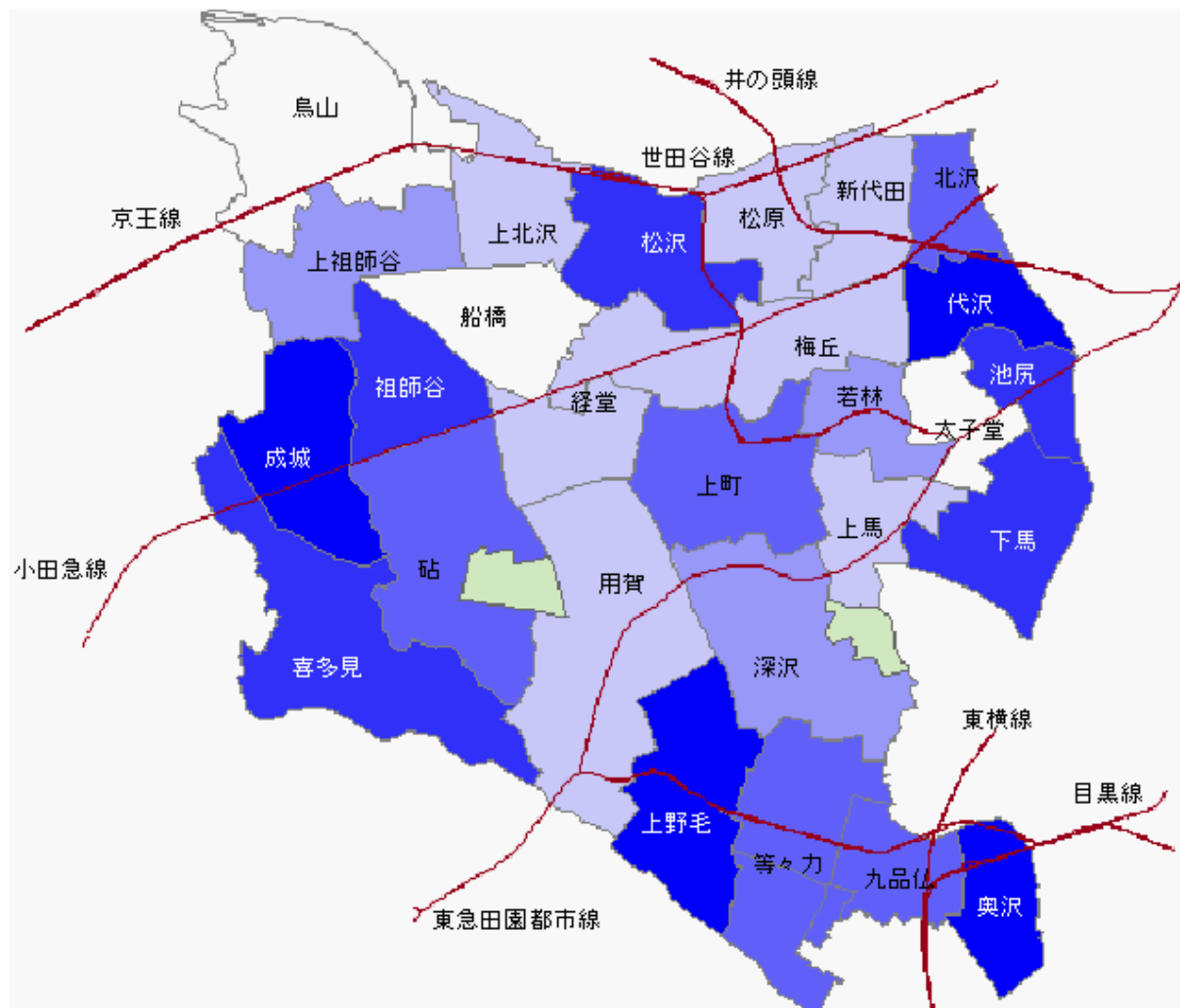
図表6

出張所・まちづくりセンター別住民力

池尻まちづくりセンター	14.79	九品仏まちづくりセンター	14.39
太子堂出張所	12.84	等々力出張所	14.35
若林まちづくりセンター	14.04	上野毛まちづくりセンター	15.09
上町まちづくりセンター	14.31	用賀出張所	13.83
経堂出張所	13.84	深沢まちづくりセンター	14.16
下馬まちづくりセンター	14.63	祖師谷まちづくりセンター	14.57
上馬まちづくりセンター	13.75	成城出張所	14.90
梅丘まちづくりセンター	13.80	船橋まちづくりセンター	13.63
代沢まちづくりセンター	15.44	喜多見まちづくりセンター	14.83
新代田まちづくりセンター	13.82	砧まちづくりセンター	14.28
北沢出張所	14.47	上北沢まちづくりセンター	13.94
松原まちづくりセンター	13.95	上祖師谷まちづくりセンター	14.20
松沢まちづくりセンター	14.72	烏山出張所	13.38
奥沢まちづくりセンター	15.05	p<0.01	

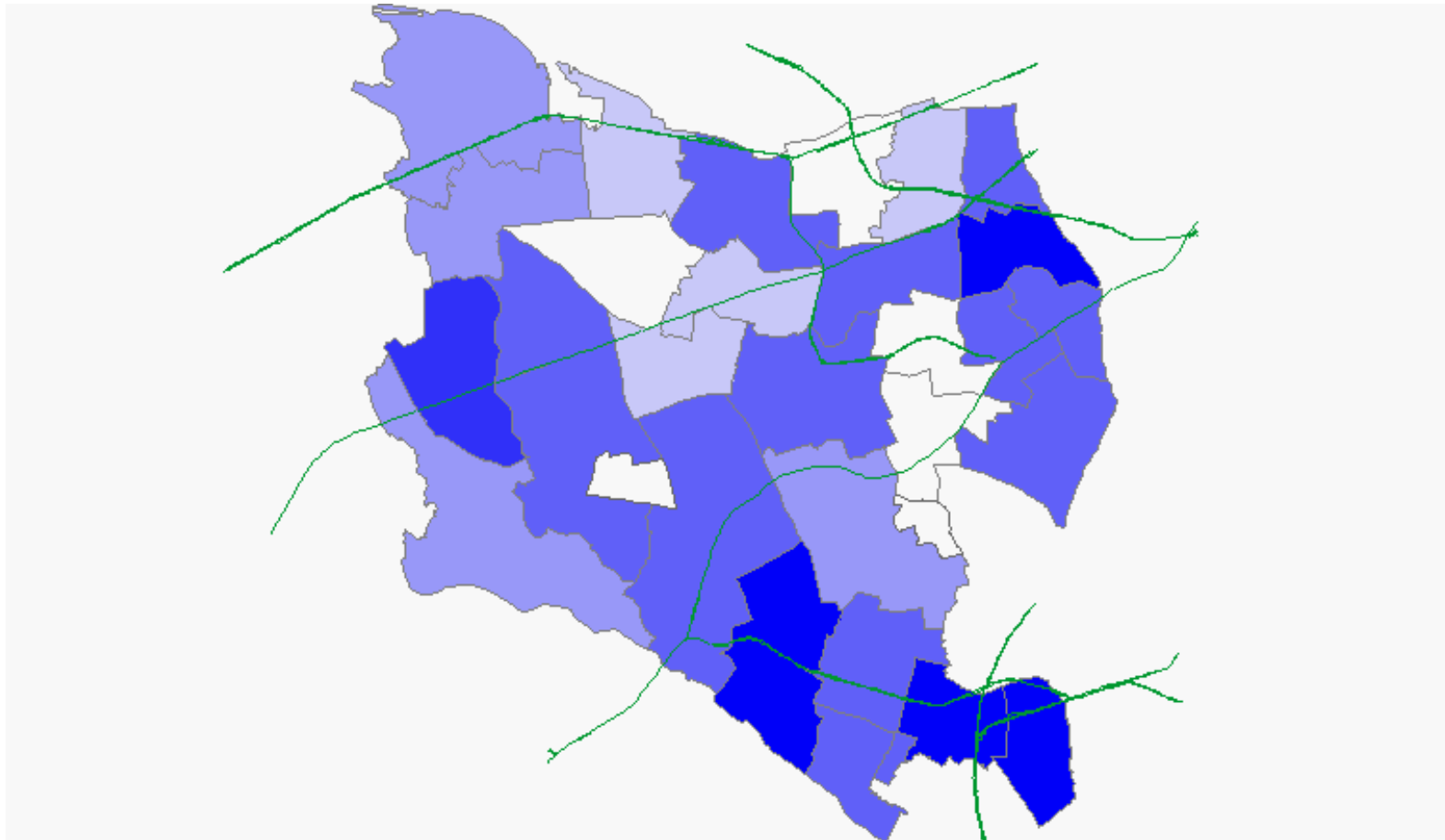
図表7

センター地区別住民力(全体)



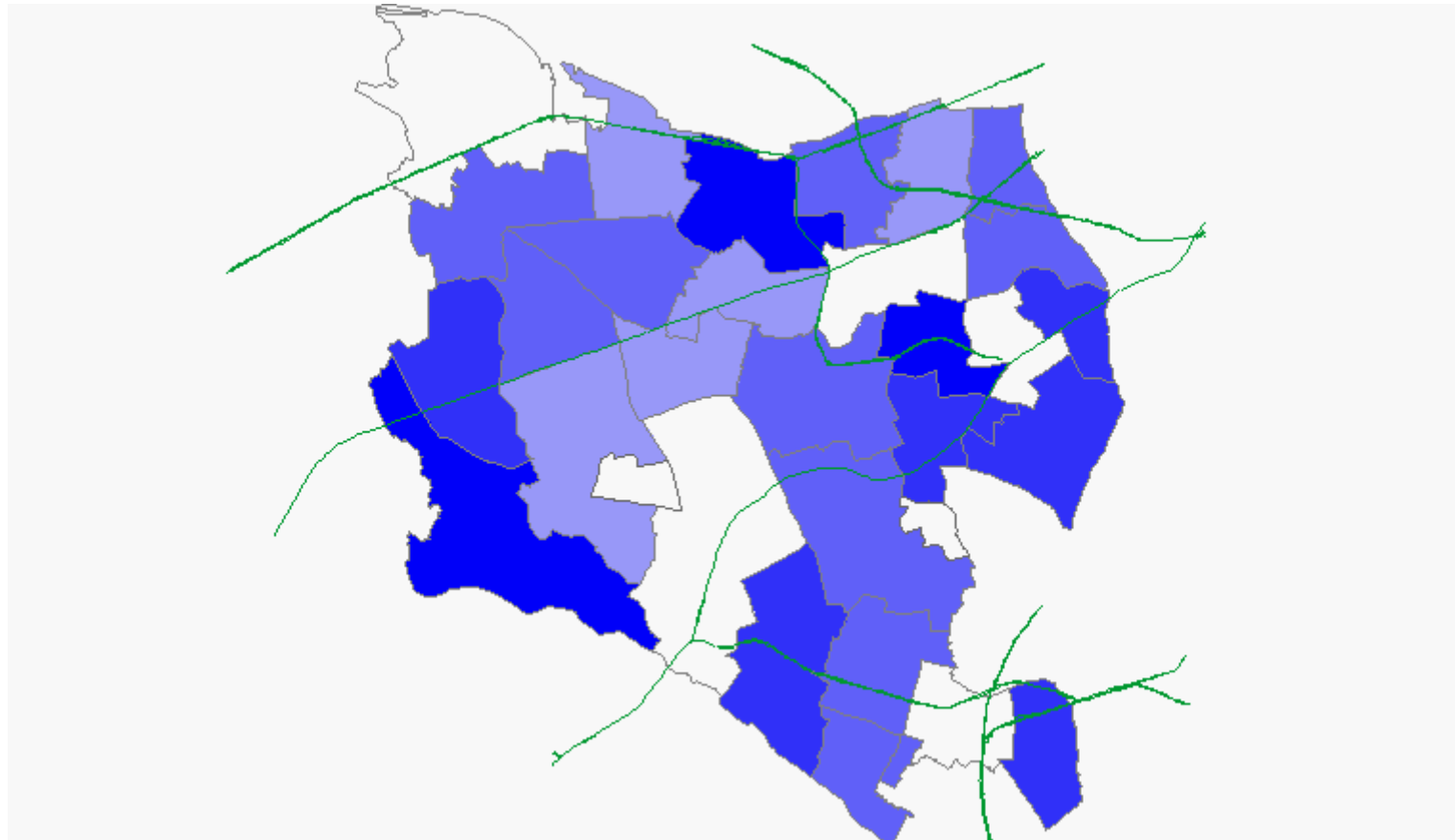
図表8

センター地区別住民力(男性)



図表9

センター地区別住民力(女性)



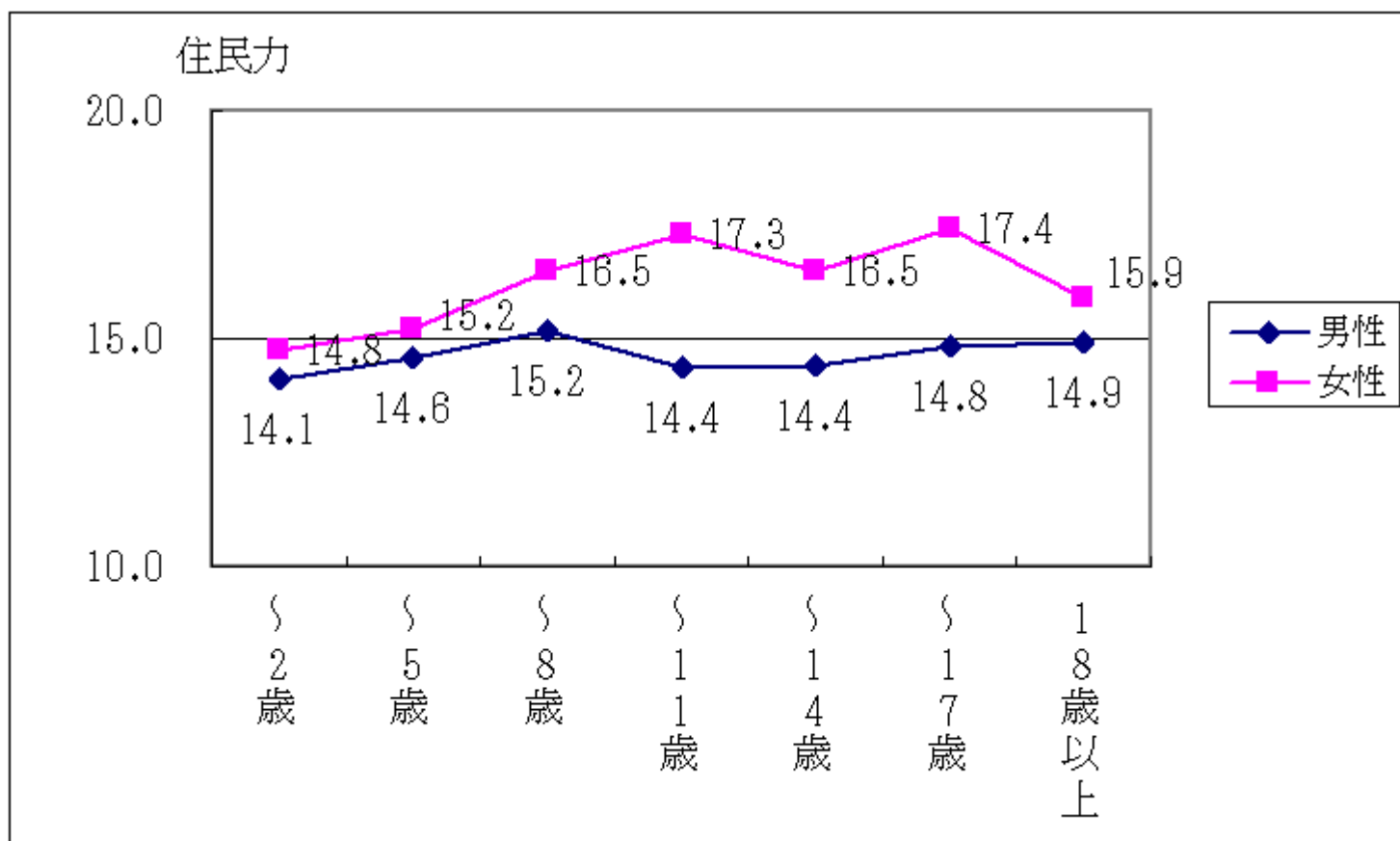
図表10

男女別に見た住民力と個人属性

	男性	女性
本人年齢	-0.009	0.023
子の有無	0.221 ***	0.271 ***
現住所居住年数	0.073 **	0.092 ***
大卒の有無	0.038	0.069 ***
三世代世帯	0.050 *	0.035

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05

図表11 子どもの年齢と住民力



男性p=n.s. 女性p<0.05

図表12 住民力の集合的効果

	低い3地区		高い3地区		男性	女性
	男性	女性	男性	女性		
子なし	11.7	11.5	13.0	13.6		***
居住年数10年未満	12.8	12.5	13.5	14.0		**
非大卒	13.2	13.7	15.5	15.0	*	
三世代世帯以外	13.2	13.2	15.2	14.9	***	***

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05

住民力はコミュニティ形成にとっての
ソフトな資源として有効